	⑵　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼数（接続呼に係るものに限る。）から算定したＥＮＵＭクエリ数及びＤＮＳクエリ数を合計したものをＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバ１ユニット当たり最大処理クエリ数で除したものを、当該局のＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数とする。ただし、当該局にＥＮＵＭサーバ及びＤＮＳサーバを設置する場合には、ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数は０とする。 ⑶　⑴のＥＮＵＭサーバユニット数から光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系ＥＮＵＭサーバユニット数とする。 ⑷　⑵のＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数からＤＮＳに係るもの（クエリ数比により算定するものとする。）及び光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＥＮＵＭ相当分）とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により、局ごとＥＮＵＭサーバ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＥＮＵＭサーバ投資額を算定する。 局ごとＥＮＵＭサーバ投資額 ＝（メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭサーバユニット数×ＥＮＵＭユニット単価 ＋メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＥＮＵＭ相当分）×ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット単価） ×（１＋相互接続局共通設備投資額加算率） ＋（メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭサーバユニット数×ＥＮＵＭユニット当たりソフトウェア単価 ＋メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＥＮＵＭ相当分）×ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニットソフトウェア単価 ＋ＥＮＵＭクエリ数×ＥＮＵＭクエリ当たりソフトウェア単価） ×（１＋相互接続局共通設備ソフトウェア投資額加算率）
ＤＮＳサーバ	１　設備量の算定 ⑴　相互接続局ごとに、当該局の最繁時呼数（接続呼に係るものに限る。）から算定したＤＮＳクエリ数をＤＮＳサーバ１ユニット当たり最大処理クエリ数で除したものを、当該局のＤＮＳサーバユニット数とする。ただし、当該局にＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバを設置する場合には、ＤＮＳサーバユニット数は０とする。 ⑵　⑴のＤＮＳサーバユニット数から光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、当該局のメタルＩＰ音声系ＤＮＳサーバユニット数とする。 ⑶　ＥＮＵＭサーバの設備量の算定において求めたＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数からＥＮＵＭに係るもの（クエリ数比により算定するものとする。）及び光ＩＰ電話に係るもの（当該局の最繁時呼数比により算定するものとする。）を控除したものを、メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＤＮＳ相当分）とする。 ２　投資額の算定 次の算定式により、局ごとＤＮＳサーバ投資額を求め、全ての局について当該投資額を合算し、ＤＮＳサーバ投資額を算定する。 局ごとＤＮＳサーバ投資額 ＝（メタルＩＰ音声系ＤＮＳサーバユニット数×ＤＮＳユニット単価 ＋メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＤＮＳ相当分）×ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット単価） ×（１＋相互接続局共通設備投資額加算率） ＋（メタルＩＰ音声系ＤＮＳサーバユニット数×ＤＮＳユニット当たりソフトウェア単価 ＋メタルＩＰ音声系ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニット数（ＤＮＳ相当分）×ＥＮＵＭ・ＤＮＳ共通サーバユニットソフトウェア単価 ＋ＤＮＳクエリ数×ＤＮＳクエリ当たりソフトウェア単価） ×（１＋相互接続局共通設備ソフトウェア投資額加算率）
メタルケーブル	１　配線設備として設置するメタルケーブルの設備量の算定 ⑴　き線点から先の配線設備の算定に当たっては、回線需要の分布を基にあらかじめ準備された配線パターンの中から最も適切なものを選択し、配線メタルケーブルの亘長kmを算定する。ケーブルの対数及び条数は、回線需要数を勘案して算定する。当該ケーブル対数及び条数を用いて、必要となるメタルケーブルの延長km及び対kmを算定する。 ⑵　架空メタルケーブル及び地下メタルケーブルの延長km及び対kmは、局ごとに与えられた配線地下比率により算定する。ただし、２⑶において全てのき線架空ケーブルを地中化しても局ごとケーブル地中化率に達しない場合は、配線架空ケーブルの追加地中化処理を行う。 ⑶　ビル引込ケーブルについては、回線の需要密度を勘案して算定する。